

授業科目 解剖学

【担当教員名】 阿部 薫、月城慶一	対象学年	1	対象学科	義肢装具自立支援学科
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

身体構造の概要を学び、特に運動器の名称と構造、および形態を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 基本的な解剖学用語を説明できる。
2. 体表解剖の概要を説明できる。
3. 骨・関節、筋、血管、リンパ系の概要を説明できる。
4. 神経系および神経支配の概要を説明できる。
5. 四肢・体幹の骨、関節、靭帯について説明できる。
6. 四肢・体幹の筋の機能分類・局所解剖について説明できる。
7. 四肢体幹の神経と脈管の形態と位置・局所解剖について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学用語	1	講義
2	解剖学総論(人体の外観、体表解剖、ランドマーク、基準線)	2	講義
3	解剖学総論(骨・関節、筋、血管、リンパ系)	3	講義
4	神経解剖学総論(中枢神経系、末梢神経系、自律神経系)	4	講義
5	神経解剖学総論(脊髄分節、感覚神経支配、運動神経支配)	4	講義
6	体幹(骨、関節、靭帯)	5	講義
7	体幹(筋の機能分類・局所解剖)	6	講義
8	体幹(神経と脈管の形態と位置・局所解剖)	7	講義
9	上肢(骨、関節、靭帯)	5	講義
10	上肢(筋の機能分類・局所解剖)	6	講義
11	上肢(神経と脈管の形態と位置・局所解剖)	7	講義
12	下肢(骨、関節、靭帯)	5	講義
13	下肢(筋の機能分類・局所解剖)	6	講義
14	下肢(神経と脈管の形態と位置・局所解剖)	7	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	プロメテウス解剖学アトラス	解剖学総論／運動器系	坂井建雄ほか訳	医学書院 2007年 12000円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 授業出席／態度、小テスト、筆記試験により、総合的に評価する。	【履修上の留意点】 医学系学習の基本となる重要な分野のため、繰り返し復習し理解に努めること。
--	---